

タイタン神考

"タイタン星人"ニフ

1. はじめに

タイタン、私の好きな言葉です。

ファイティング・ファンタジーでは世界の名前であり、神の名前でもあり、本の名前でもあります。マイナーどころでは、タイタンの表紙のドラゴンをイメージしたフィギュア、通称タイタンドラゴンもありますね。サー・イアン・リビングストーンが騎士叙勲を受けた際のインタビュー記事にも映っていました(*1)。

さてこのうち神様のタイタンは、主神であるもののAFF2eでもデータを作られなかった、不思議な神様です。困ったときのTitannicaでは、"God of Wisdom"「知恵の神」(*2)として書かれています。

今回はこの一文と、表に出てこない主神からイメージを膨らませて、設定を考えてみます。なお、「タイタン」の原文では、直接"God of Wisdom"と記載されている箇所は私では発見できなかったことを記しておきます。唯一、ロガンに世界創造の魔法の土塊を渡す時に、"for he was a wise god(*3)"「彼は賢明な神だったため」と記載されているだけでした。どなたか、見つけたら教えてください。

私が紛らわしいため、これ以降は基本、タイタン世界・タイタン神・書籍は『タイタン』、と記載を分けるようにします。



(Pixabay)

2. AFF2e用データ

タイタン

知恵の神

固有の神術： 司祭は1日に1度、自らが行ったダイスロールの数値に対して、ダイスを反転してその値に変更することができます。特殊技能の判定だけでなく、ダメージロールなどにも適用ができます。複数個のダイスをロールした場合は、神術は必ずすべてのダイスの目に効果を適用します。

例：2個ダイスを振った出目が1・3だった結果に対して神術を使用すると、ダイスの目は6・4になります。この時、3だけ反転して1・4にすることはできません。

一般的な神術： 神の祝福、治癒、追放

タイタン神はシンドラの兄弟、グランタンカの夫として、数多くの神の父となった、タイタン世界の主神です。彼はかつてその知恵を用いて、タイタン世界創造のきっかけを生み出し、新しき神々たちを退屈な不変の日常から解き放ちました。その信者は、彼の知恵の片鱗に触れることで、自分の行為が異なる結果をもたらすような、インスピレーションを得ることができます。この世界の主神であるにもかかわらず、タイタン神をその国の主たる守護神として崇拜する国はなく、また彼だけを奉じる神殿は多くありません。タイタン神は深遠な瞳に厳格な光を帯びた非常に高齢の老人とされています。合わせてその体つきは力強く、筋骨たくましい男性として描かれます。タイタン神の司祭はクリーム色のローブを着て、黒い球体をシンボルとします。司祭に特に定められた武器はありませんが、格闘技や槍が好まれるようです。

3. タイタン神について

タイタン神は、善の神々が愛し、悪の神々が狙うこのタイタン世界を気に入っています。彼は、神々の戦いの際でこそ捉えた悪の神を殺そうとしましたが、現在は悪の軍勢がタイタンに存在することは、特別に問題視していません。彼にとって好ましくないのは、悪の軍勢だけが変化に富んだこの世界を覆いつくし、均一となってしまうことです。諍いが起きていても、この世界で生きるものがそれを乗り越えていくことを望んでいます。

彼は、タイタン世界で生きるものに、ちょっとした閃きを与えることで、その神威を示します。少しの知恵をきっかけにして、神も思いつかぬ創意工夫が現れることを、楽しみにしているのです。

かつて創造した巨人たちの大半が知性を失い、愚鈍な生き物と目されることになっていることも、変化の一端として認識しています。

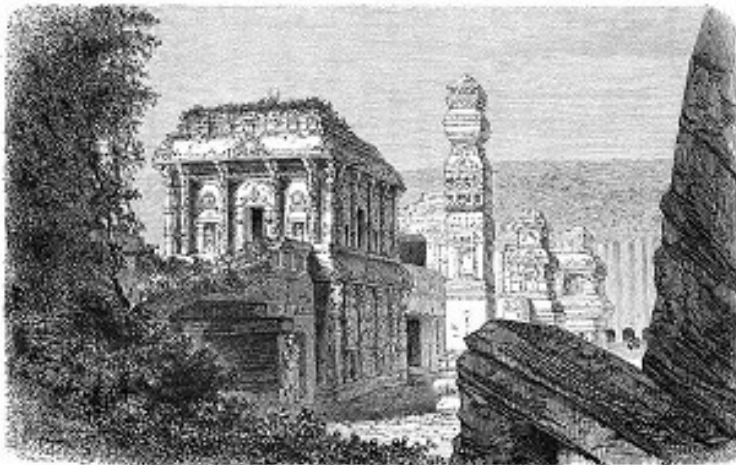
ただし、魔界や外なる宇宙（プレーン）からタイタン世界を破壊しに来る、混沌や悪魔たちに対しては別です。自分を深く信望する司祭たちには、混沌を放逐し、タイタン世界を守ることを命じています — それも密やかな手段で。彼自身は神々の中でも強く、様々な権能を持っていますが、その力を誇示した結果、ひとりの神が

この世界の信仰を席卷することは、彼の望みには沿わないためです。このため、タイタン神を奉じる者たちは、混沌の勢力や行き過ぎた悪の勢力の駆逐を、それとは知られないように行っています。

このため往々にして、タイタン神の教団は神殿を設けずに活動を行っています。神殿がまったく無いとそれも不自然であるため、いくつかの街では創造神として、表立った信仰の拠点が存在します。有名なものでは、アランシアのファングの街の神殿区に、全能殿とよばれるタイタン神を祀る神殿があります（*4）。タイタン神の祝日は籠の月/陸の眠り月（12月）の27日です（*5）。

教団の活動には戦闘や魔法を使う者だけでなく、彼らが使う武器を作る職人、あるいは酒場の主人、雑貨屋の店員、近郊の農夫 — タイタン世界であらゆる営みを送る者たちが、表立つことなく協力をしています。他の神の司祭が、自らの神とタイタン神へ合わせて祈りをささげるのも、珍しいことではありません。

例えば、旧世界のロイヤル・レンドル近辺のドルイドは、そのほかの自然の神々とともにタイタン神を「角のある神」として信仰しています（*6）。



(oldbookillustrations)

4. シナリオソース

奈落の侵攻計画

魔王子のひとり、配下の悪魔やタイタン世界の混沌魔術師・悪魔学者たちに恐ろしい計画を命じました。彼らは世界のさまざまな場所に「綻び」をつくり、多発的なタイタン世界への侵攻をくわだてています。先走った悪魔学者が起こした事件からこの企みを知ったヒーローたちは、タイタン教団と共に、魔界の軍勢を退けることができるでしょうか。

嵐巨人の古の英知

嵐巨人は巨人族の中では、タイタン神に創造された時の知性と肉体を保ち、世の中の英知を管理する役割を担ってきました。ヤズトロモさえ知らず、サラモニスの図書館でも見つからない知識が、そこにはあります。ただし、嵐巨人たちも簡単に知識を渡すことはしません。彼らは新たに生まれた知識の収集と活用事例に飢えています。ヒーローたちは、古代の英知を得るために、それに値する情報や、彼らの望む物品を探さなくてはなりません。また、嵐巨人たちの住まう峻嶒を目指すだけでも、ひとつの冒険譚ができあがることでしょう。

創造神の余計なアイデア

タイタン神は巨人を創造する前に、あることを閃きました。— 最初に創りあげたこの球体に、自分のかけらを埋め込んだらどうなるだろうか？ この広大な世界のどこかにある「タイタン神のかけら」は、触れたものに強大な力をもたらすかもしれませんし、タイタン世界の様相を変えるきっかけにもなり得ます。さらにもしそれを、混沌のものたちが目を付けたとしたらどうなるでしょうか。

5. 註

*1 引用：Titannica

[https://fightingfantasy.fandom.com/wiki/Titan_\(figurine\)](https://fightingfantasy.fandom.com/wiki/Titan_(figurine))

インタビューは元が有料記事で写真が見れないため、拙訳のツイートの写真をご参照いただきたい。

<https://twitter.com/niftor1/status/1590127521441644544>

*2 引用：Titannica

[https://fightingfantasy.fandom.com/wiki/Titan_\(god\)](https://fightingfantasy.fandom.com/wiki/Titan_(god))

*3 引用：Titan

<https://www.drivethrurpg.com/product/190247/>

*4 引用：国際通信社 d20 ファイティングファンタジーシリーズ4『死のワナの地下迷宮』

*5 引用：『Fighting Fantasy 10th Anniversary Yearbook 』

*6 引用：未訳ゲームブック『Legend of the Shadow Warriors』



(oldbookillustrations)

この作品は

「安田均・他/グループSNE」及び「グレアム・ボトリー、スティーブ・ジャクソン、イアン・リビングストーン」が権利を有する『アドバンスド・ファイティング・ファンタジー第2版』の二次創作物です。

ADVANCED FIGHTING FANTASY 2nd Edition
Copyright © Graham Botley, Steve Jackson and Ian Livingstone, 2011
Japanese version copyright © GroupSNE, 2018